

| | | | | | |
|--|--|---|--|--|--|
| <p>学ぶことの意義 (2時間)</p> <p>とによって学校における学習や生涯学習の必要性を認識させる。</p> <p>人間は学ぶことによって人間になることを具体的に理解させる。</p> | <p>人間形成</p> <ul style="list-style-type: none"> 自主的な生き方の開発 新しい文化の創造 <p>展開例 (18)</p> | <p>2 学問と人生</p> <p>(1) 学問とは、何か</p> <p>(2) 学問の目的</p> <p>(3) 真理とは何か</p> <p>(4) 学問と人生</p> <p>展開例 (19)</p> | <p>例を用いて、学ぶことの意義を考えさせるようにする。</p> <p>何のための学問かを明確にし、「受け身の学習から能動的、積極的な学習へ」の態度を身につけさせる。</p> <p>生徒の実態によっては1, 2を合わせて指導してもよいし、どちらかに重点をおいてもよい。</p> <p>「人はだれでも生れつき知ることを好む」(アリストテレス)のものであるが、真の知を求めるために学び、かつ、考えることの大切さに気付かせ</p> | <p>ける人間関係、あるいは現代社会における人々の生活意識や行動様式などに着目させ、これらが現代社会における人々の生き方や価値観を形成する上でどのような役割をもち、これらについて考えさせる。</p> <p>7 「真理を愛し真実を求め、理想の実現を目指して自己の人生を切り開いていく。」(常に希望をもち、積極的に真理と真実を求めるとともに、厳しく現実をみつめ、安易な妥協を排してより高い目標を求め、それを實現するように努める)</p> | <p>スト教、仏教、儒学などの基本的な考え方や人間の自覚についての意義について指導する。</p> <p>倫理 内容 (3) 現代社会と倫理</p> <p>イ 思索と倫理的自覚</p> <p>先哲の基本的な考え方を学習することによって自分自身が人間の存在や価値をどうとらえ、どう生きるかということを考えさせる。</p> |
| <p>情報量の激増は「考えること」の喪失につながり、本来的な自己を見失うことになる。そこで、「学ぶこ</p> | <p>1 生きることと考えること</p> <p>(1) よく生きることは、よく考えること</p> <p>(2) 「考えること」の現代的状況</p> | <p>『新学問のすすめ』(雄輝社 P19~20)</p> <p>『論語』(『世界の名著』孔子・孟子 中央公論社 P59)</p> <p>「カルチベートされた人間になれ」(『太宰治全集』筑摩書房)</p> <p>『哲学の現在』(中村雄二郎著 岩波書店 P2~3)</p> <p>『現代に生きる思索の条件』(倉</p> | <p>「人はだれでも生れつき知ることを好む」(アリストテレス)のものであるが、真の知を求めるために学び、かつ、考えることの大切さに気付かせ</p> | <p>スト教、仏教、儒学などの基本的な考え方や人間の自覚についての意義について指導する。</p> <p>倫理 内容 (3) 現代社会と倫理</p> <p>イ 思索と倫理的自覚</p> <p>先哲の基本的な考え方を学習することによって自分自身が人間の存在や価値をどうとらえ、どう生きるかということを考えさせる。</p> | |